

首都圏中央連絡自動車道 多古南工事

訂正箇所

正誤区分

特記仕様書 8頁		正誤区分								
		番号	路線名又は場所	片側車線巾員	延長	路面	用地	使用開始時期	施工者	備考
誤	13-2 工事用道路の共同使用 本特記仕様書13-1に示す工事用道路のうち、共通仕様書1-22-5に規定する工事用道路 は、下表のとおりとする。	①	本線内工事用道路	4.0m (全幅)	0.4km	舗装	無償	――	――	既設
		②	町道多古1270号線	3.0m	0.3km	舗装	無償	――	――	既設
		③	一級町道水戸千田線	3.5m	1.5km	舗装	無償	――	――	既設
		④	一般国道296号	4.0m	1.3km	舗装	無償	――	――	既設
		⑤	県道79号横芝下総線	3.5m	8.7km	舗装	無償	――	――	既設
		⑥	県道44号成田小見川鹿島港線	3.5m	0.4km	舗装	無償	――	――	既設
		②	首都圏中央連絡自動車道 多古地区函渠工事	工建設株式会社						
		②③	首都圏中央連絡自動車道 芝山工事	株式会社大林組・岩田地崎建設株式会社 首都圏中央連絡自動車道 芝山工事 特定建設工事共同企業体						
		④	首都圏中央連絡自動車道 多古北工事	未定						
正	13-2 工事用道路の共同使用 本特記仕様書13-1に示す工事用道路のうち、共通仕様書1-22-5に規定する工事用道路 は、下表のとおりとする。	④⑤⑥	首都圏中央連絡自動車道 成田北工事	清水建設株式会社						
		⑥	首都圏中央連絡自動車道 成田南工事	未定						
		⑤	首都圏中央連絡自動車道 高谷川高架橋（下部工）北工事	未定						
		⑤	首都圏中央連絡自動車道 高谷川高架橋（下部工）南工事	未定						
		①	本線内工事用道路	4.0m (全幅)	0.4km	舗装	無償	――	――	既設
		②	町道多古1270号線	3.0m	0.3km	舗装	無償	――	――	既設
		③	一級町道水戸千田線	3.5m	1.5km	舗装	無償	――	――	既設
		④	一般国道296号	4.0m	1.3km	舗装	無償	――	――	既設
		⑤	県道79号横芝下総線	3.5m	8.7km	舗装	無償	――	――	既設
		⑥	県道44号成田小見川鹿島港線	3.5m	0.4km	舗装	無償	――	――	既設
		⑦	本線内工事用道路	4.0m (全幅)	0.06km	舗装	無償	令和6年2月	――	既設
		⑧	本線内工事用道路	4.0m (全幅)	0.3km	土砂	無償	令和6年2月	未定	新設
		⑨	本線内工事用道路	4.0m (全幅)	0.4km	舗装	無償	令和6年2月	――	既設

首都圏中央連絡自動車道 多古南工事

訂正箇所

正誤区分

特記仕様
書
36頁

誤

品質管理内容	管理値	頻 度	管理方法
深度方向の品質確認	反応状態	各設計基準強度毎に A 1 及びBは 1回/4,000m ³ または エリア毎	オールコアボーリングに より採取したコアをフェ ノールフタレイン反応試 験により均質性の目視
一軸圧縮試験 「JIS A 1216」に準 じる	3本/回各供試体は設 計基準強度の85%以 上とし平均は設計基 準強度以上とする	A 2は 1回/500本またはエ リア毎	上記試料を用いて上、 中、下または土質性状の 異なる代表する3層の試料 を採取

正

品質管理内容	管理値	頻 度	管理方法
深度方向の品質確認	反応状態	各設計基準強度毎に A 1、B及びCは 1回/4,000m ³ または エリア毎	オールコアボーリングに より採取したコアをフェ ノールフタレイン反応試 験により均質性の目視
一軸圧縮試験 「JIS A 1216」に準 じる	3本/回各供試体は設 計基準強度の85%以 上とし平均は設計基 準強度以上とする	A 2は 1回/500本またはエリ ア毎	上記試料を用いて上、 中、下または土質性状の 異なる代表する3層の試 料を採取

首都圏中央連絡自動車道 多古南工事

訂正箇所

発注用図面

(平面図)

9/9頁

正誤区分

誤



正

